

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

|    |                     |
|----|---------------------|
| 所在 | 世田谷区上用賀 5 - 1 9 - 6 |
| 園名 | 世田谷区立ふじみ保育園         |

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

## 絵本から広がる世界を味わう

<テーマの設定理由>

これまで、各クラス的环境として絵本を充実させ、保護者向けにも貸出絵本コーナーの充実に力を入れてきた。園内環境として、中廊下が広く日々の保育の中で子どもが寛ぎ、絵本の世界をじっくりと味わう環境と時間を整えることで、絵本を通じて表出される子どもの発想や遊びのアイデアを大切に、遊びの充実を図りたいと考えた。

### 2. 活動スケジュール

(4・5月) 絵本の選定・購入、環境づくり  
(6・7・8月) 子どもの姿の共有と遊びの展開  
(9・10・11・12月) 絵本と遊びのつながりの実践の共有  
(1・2・3月) 振り返りと共有 次年度に向けた取り組み内容の検討

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

絵本にじっくり触れる環境を整えるために、広い廊下に絵本を中心とした環境を整えた。

- 絵本棚の前に、背の低いベンチを設置し、一人でもゆったりと絵本を眺める時間を持てる場所
- 外国にルーツのあるお子さんが複数在籍しているため、英語や中国語に翻訳された絵本を配置。
- センサリートイや、優しい色合いの木製の人形、ドールハウスなどを、絵本と合わせて設置
- 図鑑コーナーを整え、そのそばには、メダカの水槽を設置。
- 2歳児クラスのサブ保育室に、絵本コーナーを充実。ゆったり楽しめるよう、マットや低いベンチを設置。
- 2階の廊下にも、絵本と遊具を設置。お話に合わせて動かして遊べるよう、パペットも配置した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ① 絵本をきっかけにして広がる遊び～積み木遊び～
- ② 絵本の世界から、遊びにつながる～小さなうち～
- ③ 絵本から音の表現へ～楽器作りと楽器遊び～

##### <活動中の子供の姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

###### 【5歳児クラス】

積み木コーナーに置かれた積み木の  
写真絵本を見て、気にしている様子でした。  
「作ってみる？」という保育士の声掛けに、  
黙ってうなずき、積み木を手に取り  
写真を確認しながら丁寧に再現していました。



###### 【4歳児クラス】

クラスで絵本を読んでから、大きな  
段ボールを使って、家づくりをしました。  
子どもたちが相談しながら、  
窓の場所を決めたり、色を塗ったりして、  
自分たちだけのおうちが出来上がりました。  
その後は、廊下の一角におかれ、  
一人でゆったりと過ごしたいときなどの  
くつろぎの場所になっていました。



###### 【4歳児クラス】

マラカスの絵本を読んだ後で素材を用意したところ  
子どもたちが興味を示し、手作り楽器を作りました。  
その後、楽器遊びにもつながり絵本をきっかけとして楽器遊びを  
楽しむことができました。

## 5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき

- ◎担当者を複数設けたことで、選ぶ絵本等に偏りもなく、子どもたちの遊びの世界を広げることができた。
- ◎年齢に合わせた絵本との向き合い方など、子どもの姿と照らし合わせながら進めていきたい。
- ◎次年度も引き続き、絵本の世界を深め、存分に楽しめるような環境、働きかけを意識して進めていく。子どもたちの姿を丁寧に見取り、子どもの興味や関心に合わせた取り組みを行っていく。